

平成 16 年 6 月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年5月10日

会社名 グッドウィル・グループ株式会社 (コード番号 4723 東証第1部)
 (URL <http://www.goodwill.com>)
 代表者 役職名 代表取締役会長
 氏名 折口 雅博
 先 役職名 常務取締役管理本部長兼会長室長
 氏名 金崎 明 TEL (03) 3405 - 9228

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年6月期第3四半期業績の概況(平成15年7月1日～平成16年3月31日)

(1) 経営成績

(単位:百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年6月第3四半期	66,384	(46.9)	4,348	(11.3)	4,098	(6.8)
15年6月第3四半期	45,194	(28.9)	3,908	(49.1)	3,837	(48.1)
(参考)15年6月期	62,272	(31.6)	4,971	(32.3)	4,814	(31.6)

(注) 売上高、営業利益、経常利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績に関する補足説明]

当四半期におけるわが国経済は、設備投資、輸出の増加等により景気が着実に回復の傾向に向かっているものの、完全失業率は5%程度で高水準を維持しており、企業収益の改善は続いているものの、個人のレベルまで景気回復が実感できるまでには至らない状況にありました。

こうした状況の中、当企業グループにおいてはコアのビジネスの一つである「人材サービス」において市況の回復基調が確実さを増し、業績が好調に推移いたしました。「アウトソーシング」に対する顧客ニーズの高まりとともに、大幅な需要の喚起に対応するため積極的な新店を行い当四半期中に58支店を開店いたしました。顧客・登録スタッフ双方の利便性を確保するとともに、専門性をも高め顧客満足度の向上を図っており、売上の増加につながっております。

もう一つのコアのビジネスである「介護サービス」におきましては、高齢者人口の増加を背景に「介護保険」の認知度・利用度の浸透、また「コムスンブランド」の醸成により、業績は好調に推移いたしました。在宅介護事業においては引き続き拠点数の拡大を進め、当四半期中に50拠点出店し累計706拠点といたしました。施設介護事業においては、中核となるグループホーム事業において当四半期中に9施設開設し、累計43施設といたしました。有料老人ホーム事業も既存3施設が満室と好調な運営をつづけております。

人材関連事業においては、ドライバー派遣事業や社員カウンセリングプログラム(EAP)事業についても順調に推移しました。

上記の通り、各事業とも好調に推移したものの、「人材サービス」と「介護サービス」という二つの成長市場において、短期的な利益よりも将来に向けた積極的な拠点展開や投資を優先させたため、当第3四半期(平成16年1月1日から3月31日までの3ヶ月間)の当社の業績については、連結売上高は前年同四半期比77億28百万円増加の239億20百万円となったものの、経常利益は上記のような積極展開に加え、株式会社コムスンにおけるケア付シニア住宅(コムスンレジデンス)事業への新規参入に伴う先行投資などにより前年同四半期比3億88百万円減少の9億90百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成16年6月期の連結業績予想（平成15年7月1日～平成16年6月30日）

通 期	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
	91,000	5,500	2,700	4,632 31

[業績予想に関する定性的情報]

連結の通期業績予想につきましては、従来、売上高85,000百万円、経常利益5,900百万円、当期純利益3,000百万円としておりましたが、上記の通り予想を修正いたします。当社においては、引き続き売上高は好調に推移しており、売上総利益率も前期比で改善し利益を押し上げましたが、次ページ(参考)の「2. 第3四半期の連結損益計算書」に示す通り、第3四半期のみ経常利益が前期比で下回ることとなりました。その理由は、株式会社コムスンにおいては、需要旺盛なグループホームを前倒しで開設し、当初予定より約20箇所多い80箇所を開設すること等による開設初期費用や販売促進費が約300百万円発生すること、ケア付シニア住宅(コムスンレジデンス)事業に新規に参入することとし、これによる先行投資費用約55百万円及び土地購入による利息負担約65百万円が発生することとなり、株式会社コムスン全体として約420百万円の先行投資が発生することによるものです。当社及び株式会社コムスンともに売上高は好調に推移していることから従来予想より増加し、また上記先行投資追加負担分の利益が減少するもの

(参考)

1. 当該四半期の連結売上高の状況

(単位:千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	16年6月第3四半期	15年6月第3四半期	増減率
		自平成16年1月1日 至平成16年3月31日	自平成15年1月1日 至平成15年3月31日	
セグメント	請負事業	13,846,165	9,964,954	38.9%
	人材関連事業	695,484	441,187	57.6%
	介護・医療支援事業	9,378,590	5,785,593	62.1%
	合計	23,920,240	16,191,734	47.7%

(注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.当企業グループが行う業務は人員数、期間等が一律ではなく、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3.事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また、上記の金額は、セグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。

4.セグメント別区分について

請負事業 ... 軽作業(当社及び当社子会社株式会社ソア)

人材関連事業 ... 社員カウンセリングプログラム(EAP)(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)、採用支援(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)、ドライバー派遣(当社子会社ソア)

介護・医療支援事業 ...

在宅介護、施設介護、訪問歯科診療サポート(当社子会社株式会社コムスン)

5.売上高の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期までの売上高の状況(四半期累計)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	16年6月第3四半期	15年6月第3四半期	増減率
		自平成16年1月1日 至平成16年3月31日	自平成15年1月1日 至平成15年3月31日	
セグメント	請負事業	38,733,348	27,799,775	39.3%
	人材関連事業	1,889,658	1,316,897	43.5%
	介護・医療支援事業	25,761,755	16,077,395	60.2%
	合計	66,384,764	45,194,068	46.9%

2. 第3四半期の連結損益計算書

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	16年6月第3四半期 自平成16年1月1日 至平成16年3月31日 (A)		15年6月第3四半期 自平成15年7月1日 至平成15年3月31日 (B)		前年同相比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	23,920,240	100.0%	16,191,734	100.0%	7,728,506
売上原価	15,996,306	66.9%	10,894,653	67.3%	5,101,652	46.8%
〔売上総利益〕	7,923,934	33.1%	5,297,081	32.7%	2,626,853	49.6%
販売費及び一般管理費	6,821,792	28.5%	3,877,143	23.9%	2,944,649	75.9%
(うち連結調整勘定償却)	(178,249)	(0.7%)	(100,304)	(0.6%)	(77,944)	(77.7%)
〔営業利益〕	1,102,142	4.6%	1,419,938	8.8%	317,795	22.4%
営業外収益						
受取利息	988	0.0%	2,570	0.0%	1,581	61.5%
その他	20,383	0.1%	11,753	0.1%	8,630	73.4%
営業外費用						
支払利息割引料	101,242	0.4%	53,035	0.3%	48,207	90.9%
その他	31,499	0.2%	1,638	0.0%	29,861	1823.0%
〔経常利益〕	990,771	4.1%	1,379,587	8.5%	388,815	28.2%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同相比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{\text{(A)当年第3四半期の実態} - \text{(B)前年第3四半期の実態}}{\text{(B)前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期の連結損益の状況 (四半期累計)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	16年6月第3四半期 自平成15年7月1日 至平成16年3月31日 (A)		15年6月第3四半期 自平成14年7月1日 至平成15年3月31日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	66,384,764	100.0%	45,194,068	100.0%	21,190,696
売上原価	44,057,811	66.4%	30,394,352	67.3%	13,663,459	45.0%
[売上総利益]	22,326,953	33.6%	14,799,716	32.7%	7,527,236	50.9%
販売費及び一般管理費 (うち連結調整勘定償却)	17,978,269 (410,828)	27.0% (0.6%)	10,891,374 (289,096)	24.1% (0.6%)	7,086,895 (121,732)	65.1% (42.1%)
[営業利益]	4,348,683	6.6%	3,908,342	8.6%	440,341	11.3%
営業外収益						
受取利息	14,518	0.0%	18,164	0.0%	3,645	20.1%
その他	63,259	0.1%	62,002	0.1%	1,256	2.0%
営業外費用						
支払利息割引料	242,254	0.4%	136,070	0.3%	106,183	78.0%
その他	85,954	0.1%	14,767	0.0%	71,187	482.1%
[経常利益]	4,098,252	6.2%	3,837,671	8.5%	260,581	6.8%

(注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。

2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{\text{(A)当年第3四半期の実態} - \text{(B)前年第3四半期の実態}}{\text{(B)前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3.上記の数値は、未監査であります。

3. 第3四半期の連結貸借対照表

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	16年6月第3四半期 平成16年3月31日現在	
		金額	百分比
流動資産		53,251,347	60.1%
固定資産			
有形固定資産		3,036,926	3.4%
無形固定資産		27,052,209	30.6%
投資その他の資産		5,242,969	5.9%
繰延資産		0	0.0%
資産合計		88,583,454	100.0%
流動負債		33,615,156	38.0%
固定負債		16,339,580	18.4%
負債合計		49,954,737	56.4%
少数株主持分		79,680	0.1%
資本合計		38,549,036	43.5%
負債、少数株主持分及び資本合計		88,583,454	100.0%

(注) 1.上記の数値は、未監査であります。

4. 第3四半期の個別売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	16年6月第3四半期	15年6月第3四半期	増減率
		自平成16年1月1日 至平成16年3月31日	自平成15年1月1日 至平成15年3月31日	
請負作業	キャスティング作業	10,076,935	8,334,627	20.9%
	コンストラクション作業	1,389,741	426,140	226.1%
	セールスプロモーション作業	674,170	381,829	76.6%
	テクニカルサポート作業	442,255	222,183	99.0%
	オフィスサポート作業	291,135	121,709	139.2%
	イベント作業	354,963	156,703	126.5%
	その他	334,326	37,294	796.4%
計		13,563,526	9,680,488	40.1%

- (注) 1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2.当社が行う請負業務は人員数、期間等が一樣ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。
 3.品目区分について
 請負作業・キャスティング作業 ... 軽作業全般の請負作業
 請負作業・コンストラクション作業 ... 建設、内装現場の請負作業
 請負作業・セールスプロモーション作業 ... 店頭での販売促進等の請負作業
 請負作業・テクニカルサポート作業 ... マルチメディア関連の請負作業
 請負作業・オフィスサポート作業 ... オフィス・事業所内軽作業
 請負作業・イベント作業 ... イベント会場の設営・撤去等の請負作業
 請負作業・その他 ... 上記以外の請負作業など
 4.売上高の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期までの売上高の状況(四半期累計)

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目名	期別	16年6月第3四半期	15年6月第3四半期	増減率
		自平成15年7月1日 至平成16年3月31日	自平成14年7月1日 至平成15年3月31日	
請負作業	キャスティング作業	28,629,112	23,360,315	22.6%
	コンストラクション作業	3,861,999	1,181,455	226.9%
	セールスプロモーション作業	1,921,523	1,026,842	87.1%
	テクニカルサポート作業	1,109,420	538,084	106.2%
	オフィスサポート作業	698,790	299,775	133.1%
	イベント作業	1,059,710	487,059	117.6%
	その他	605,372	77,769	678.4%
計		37,885,928	26,971,303	40.5%

5. 第3四半期の個別損益計算書

(単位：千円、単位未満切り捨て)

期別 科目	16年6月第3四半期 自平成16年1月1日 至平成16年3月31日 (A)		15年6月第3四半期 自平成15年1月1日 至平成15年3月31日 (B)		前年同环比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
	売上高	13,563,526	100.0%	9,680,488	100.0%	3,883,038
売上原価	8,836,746	65.2%	6,340,417	65.5%	2,496,329	39.4%
〔売上総利益〕	4,726,779	34.8%	3,340,071	34.5%	1,386,708	41.5%
販売費及び一般管理費	3,844,267	28.3%	2,168,386	22.5%	1,675,881	77.3%
〔営業利益〕	882,512	6.5%	1,171,684	12.0%	289,172	24.7%
営業外収益						
受取利息	4,559	0.0%	2,547	0.0%	2,012	79.0%
その他	24,316	0.2%	11,163	0.1%	13,153	117.8%
営業外費用						
支払利息割引料	75,143	0.5%	31,823	0.3%	43,320	136.1%
その他	39,813	0.3%	1,283	0.0%	38,530	3003.1%
〔経常利益〕	796,431	5.9%	1,152,287	11.9%	355,856	30.9%

- (注) 1. 上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。
2. 前年同环比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A})\text{当年第3四半期の実態} - (\text{B})\text{前年第3四半期の実態}}{(\text{B})\text{前年第3四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、未監査であります。

(ご参考) 第3四半期の損益の状況 (四半期累計)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

期別 科目	16年6月第3四半期 自平成15年7月1日 至平成16年3月31日 (A)		15年6月第3四半期 自平成14年7月1日 至平成15年3月31日 (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A)-(B)	増減率
売上高	37,885,928	100.0%	26,971,303	100.0%	10,914,625	40.5%
売上原価	24,740,849	3.1%	17,939,630	6.7%	6,801,219	37.9%
〔売上総利益〕	13,145,078	96.9%	9,031,672	93.3%	4,113,406	45.5%
販売費及び一般管理費	9,728,106	71.7%	5,913,561	61.2%	3,814,545	64.5%
〔営業利益〕	3,416,972	25.2%	3,118,111	32.1%	298,861	9.6%
営業外収益						
受取利息	21,730	0.2%	26,734	0.3%	5,004	18.7%
その他	156,390	1.2%	100,395	1.0%	55,995	55.8%
営業外費用						
支払利息割引料	168,347	1.2%	90,437	0.9%	77,910	86.1%
その他	110,552	0.8%	19,793	0.2%	90,759	458.5%
〔経常利益〕	3,316,192	24.4%	3,135,010	32.4%	181,182	5.8%

- (注) 1.上記損益計算書においては、特別損益以下の項目の記載の省略しております。
2.前年同期比増減欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{\text{(A)当年第3四半期の実態} - \text{(B)前年第3四半期の実態}}{\text{(B)前年第3四半期の実態}} \times 100$$

- 3.上記の数値は、未監査であります。

6. 第3四半期の個別貸借対照表

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	16年6月第3四半期 平成16年3月31日現在	
		金額	百分比
流動資産		29,645,548	45.2%
固定資産			
有形固定資産		2,624,102	4.0%
無形固定資産		215,692	0.3%
投資その他の資産		33,173,785	50.5%
資産合計		65,659,127	100.0%
流動負債		17,473,535	26.6%
固定負債		10,827,829	16.5%
負債合計		28,301,364	43.1%
資本合計		37,357,763	56.9%
負債及び資本合計		65,659,127	100.0%

(注) 1.上記の数値は、未監査であります。

7. 来期以降の連結業績見通しについて(参考)

来期以降の連結業績については、以下を予定しております。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
平成16年6月期(当期)	91,000	5,500	2,700
平成17年6月期	120,000	5,500	2,000
平成18年6月期	160,000	8,000	4,000
平成19年6月期	220,000	25,000	12,000

来期以降は株式会社コムスの完全子会社化による連結調整勘定の償却負担が通期で発生すること及び「コムス施設介護事業」において、土地購入によるケア付きシニア住宅(コムスレジデンス)への新規参入や有料老人ホーム事業(コムスホーム)への積極的な事業展開を計画しており、これに伴う先行投資費用や利息負担、販売促進費の増加を予定しているため、来期以降の2決算期間における利益成長は抑え目となっておりますが、収益にフルに寄与してまいります3決算期目からは、売上・利益ともに大きな成長を期待しております。現時点で東京渋谷・世田谷などで土地買収に着手しており、既に七ヶ所で計二百億円相当の契約を完了し、二年後をメドに開設予定としております。また、今後一年間で投資総額約千億円を計画しております。